

News

No.147
2024/10/01

■サレジオ高専News
校長メッセージ

■高専ニュース147号（号外）

■育英学院同窓会報
HomeComing2023
定期総会開催
会長挨拶
HomeComing2023 Snaps
恒例のキャリアデーはようやく全体面で開催
BLOG紹介part1,part2
最後のお便り 育英学院同窓会創立の頃

■父母会だより
2023年度 父母会活動紹介

SALESIO

サレジオ高専

サレジオ工業高等専門学校

194-0215 東京都町田市小山ヶ丘4-6-8

Tel. 042-775-3020 Fax. 042-775-3021

Loving Kindness
Human Technology
Living Truth

発行人・・・校長:小島 知博
編集長・・・広報:星野 正登
編集・・・広報:辻瀬 未来

2025 REBORN

サレジオ高専は2025年度に生まれ変わります



いつもサレジオ高専の教育にご支援くださり感謝いたします。

既知のこととは思いますが、2025年度から新生サレジオ高専がスタートします。
2025年度新生は情報工学科のみの学生です。1年生だけが1学科となり2年生以上は4学科のままの体制です。
情報工学科の人数は多くなりますが、学校全体として何かが大きく変わることはありません。

サレジオ高専の教育はデジタル人材育成となります。デジタル人材不足は年々深刻化しています。文部科学省は2024年度に既存の高等学校1000校をDXハイスクールに指定しました。デジタルに関する学びを深めた生徒がデジタル人材として社会で活躍することを期待しています。また高等教育機関に対しては「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について（諮問）」（中央教育審議会 令和5年9月25日）で、少子化に対応するために「既存の学部・学科等の構成や教育課程の見直しなどの教育研究の充実に関する方策や、高等教育機関間の連携の強化に関する方策、再編・統合等を促進する方策、教育や経営に関する情報の公表に係る方策をはじめ、今後の高等教育全体の適正な規模も視野に入れながら、地域における質の高い高等教育へのアクセスを確保するための抜本的な構造改革の在り方について検討をお願いします」と述べています。

将来を考えた教育の在り方が求められる中で、本校では既存の情報工学科の学びに加えてデジタルツインやデジタルとの複合分野を4、5年生で学び、研究することになります。これには社会実装、産学官連携が必要です。
学外の方々の支援を得ながら学生が自分の選んだ分野の学びを深めるために今年度、本校にはイノベーションコモンズ（付属研究所）が設立されました。学生の学びのために学外に開かれた学校の実現を加速させていきます。

今後ともサレジオ高専の教育にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



サレジオ工業高等専門学校
校長 小島 知博



高専ニュース147号（号外）

HomeComing2024休止>>>2025は開催

日本連合役員会報告など 2024/10/1

告知

昨年HomeComing2023開催時に、この開催を隔年として**2024年はお休み**、2025年に高専57、58期の卒業生を招待して開催することをお知らせしました。

しかし来校した卒業生のお休み処としてCaféTimorは（10/25 土曜のみ）オープンすることにしましたので是非お立ち寄りください。元学食の2F入り口付近

情報提供

同窓会事務局BLOGで直近の情報提供をしておりますので是非アクセスしてください。

<https://ikueigakuin-dosokai.blogspot.com/>

高専ニュース146号以前のバックナンバーや過去の会合、恩師の訃報などは以下のHPに掲載していますのでご覧ください

<https://www.ikueigakuin-dosokai.org/index.html>

配送基準

今回の高専ニュース147号は以下の皆様で住所の判明している方（約3000名）に郵送しております。

1. 同窓会役員（記号KSRHY）の皆さん
2. 年会費既納の正会員の皆さん
3. 高専44期-57期の卒業生の皆さん
4. 元教職員の皆さん
5. 父母OBOGの一部の皆さん

そこでお友達で高専ニュースが来ないという方は現住所を届けていないか、上記以外の皆さんになります。今年10月以降郵送料も値上げされますので是非年会費の納入をお願い申し上げます。またLINEやFBなどで是非お伝えください。

同封している振込用紙は年会費（高専卒業後5年超の正会員対象）の他、高専教育の寄付、デジタル記念誌の申込にも使えますのでご利用ください。

年会費の納付状況や現住所不明の情報はHPに掲載していますのでご覧ください！

<https://www.salesio-sp.ac.jp/>

日本連合

サレジオ同窓会日本連合 2024 年度の役員会報告等 2024/06/29 近松秀明

集合写真（サレジオ学院都筑協会にて 6月8日）



役員の体制が新しくなってから初めての役員会となり、日本のサレジオ会学校5校の同窓会から連合役員12名とオブザーバー9名が参加。
中央正面左側が横山会長、右側が6月6日に就任したサレジオ会の濱崎敦新管区長（連合顧問）



役員会の様子

（サレジオ学院大会議室にて 6月8日）

正面左から奥山会長、連合会横山会長、濱崎敦新管区長（連合顧問）、三島神父、鳥越神父（サレジオ学院校長）

去る2024/6/8 横浜のサレジオ学院において濱崎新管区長（日本のサレジオ会トップ）を迎えてサレジオ同窓会日本連合の役員会が開催されました。

育英学院同窓会からは河村顧問、奥山会長、近松副会長、鈴木（阿久津）副会長が出席しました。

各校同窓会の現況報告の後、今後の活動方針を討議しました。

今年秋にローマで開催されるサレジオ同窓世界連合に奥山会長が日本連合から派遣されることになっています。

今後の活動が期待されますので、育英学院同窓生は世界同窓会の一員でもあることを記憶に残しておいてください。

**The Dream
that makes you dream**

育英学院同窓会報

発行人:育英学院同窓会 / 事務局:東京都町田市小山ヶ丘4-6-8 サレジオ工業高等専門学校内



特集 育英学院同窓会が生まれた頃・・・

今回は本同窓会の創設時代の空閑（H6P:米寿）の思い出を紹介します。
このように90代の先輩から20代の若者まで連綿と繋ぐ同窓会です。

HomeComing2023 高専53、54、55、56期を招待

2023/10/21

さる2023年10月21日にコロナ禍で開催できなかったHomecoming（SHCD）を新卒として迎える機会を失った高専53期、54期、55期、56期の卒業生を招待して町田で開催した。詳細は同窓会BLOG2023/10/25で報告済み、4期に渡って100名を超すOBOGが参集した。また同年9月の総会代替の理事会・評議員会で改選・選出された新会長奥山勇人さん（S9ID）が紹介され挨拶した。Snapsを次ページに！

- ・育英サイテック（杉並）の利用機会仲介
- ・サレジオ同窓会日本連合活動参加と東アジア・オセアニア地域EAO参加
- ・学生支援基金・人財バンクの創設

奥山勇人新会長（S9ID） 就任挨拶 2023/9/16

2023年9月の評議員会（総会代替）・理事会で河村英和会長の後任として育英学院同窓会長に就任した奥山勇人です。同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝、ご活躍の事と拝察いたします。

2025年には町田多摩境移転開校20周年、さらに創立（開校）90周年を迎えます。この節目の折りに同窓会の歴史と伝統を踏まえ、若い会員の皆様の力をいただき、執行役員の皆様とともに同窓会の本来の目的である会員相互の親睦・情報交換そして学校事業への支援を図りつつ若い力による同窓会活動の活性化に努めて参る所存です。このたび専攻科22期生9名、本科57期生125名、計134名を新たにお迎えし、登録同窓会員は延べ15206名（重複・逝去含）に達しました。今年2024年は開校89年目にあたりますが、社会に旅立つ皆さんには「サレジオ精神」を忘れずに「善き社会人」になれとエールをお送りします。また皆様には同窓会活動の主旨と重要性をご理解いただき、今後一層のご協力をお願い申し上げる次第です。そして引き続いて活動を進めてまいります。



定期総会開催

2023/9/16

理事会・評議員会を招集し総会に替えて開催しSHCDで報告した。会合はリアル＆リモートで開催され、理事会・評議員会とも有効な委任を含む出席数で成立した。

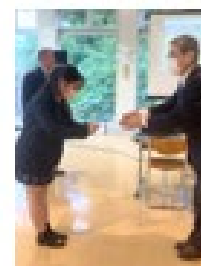
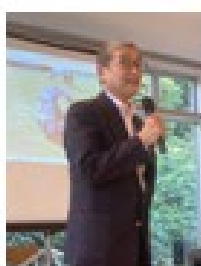
BLOG2023/9/18

以下は新会長の活動方針

- ・理事会・評議員会・SHCD幹事会の開催
- ・同窓会の運営・会計報告・活動報告・予算案・事業計画の審議及び承認
- ・名簿データベースの管理・同窓会年報の発行（新卒業生へ配布）
- ・同窓会報の編集発行（高専NEWS併載毎年10月発行）会費既納会員宛発送
- ・在校生との交流（4年生へのキャリアデーへの講師支援）
- ・同窓会指定の会員有志の会協力（育英ファミリー会、育英グラフィックの会、育英元職の会）
- ・卒業生のクラス会、同期会、クラブOBOG会等への支援
- ・学生募集活動への協力（同窓生への学生募集資料同封配布）

HomeComing2023 Snaps

2023/10/21 SalesioKOSEN in MACHIDA



恒例のキャリアデーはようやく全対面で開催

サレジオ高専（町田） 2024/5/18

例年開催されていたOBOG講師を招いたキャリアデーはReal環境で行われた。
以下の多くの卒業生の協力を得た。同窓会としても感謝の意を表した。

キャリアデー（5/18）講師一覧

卒業学科	卒生コード	氏名	学校名・会社名
A D	S56AD10	川松菜花	多摩美術大学 プロダクトデザイン
A D	S56AD21	中釜はるひ	武蔵野美術大学 情報デザイン
A D	S56AD42	上野美月	大河商事株式会社
A D	S56AD20	梅瀬美玲	東洋FPP株式会社
E E	S43EE02	青木裕太	メタウォーター株式会社
E E	S44EE10	菊池輝之	KYB株式会社
E E	S44EE52	矢内拓	東京電力ホールディングス株式会社
M E	S47ME35	正岡 紗良	東芝プラントシステム(株)
M E	S54ME47	古澤 太清	東急電鉄(株)
M E	S46ME24	中川 寛淑	(株)日立ビルシステム
M E	S54ME31	田中 紫苑	(株)日野ヒューテック
C S	S26EC09	岸川 雄一	OKIサーキットテクノロジー株式会社
C S	S54CS24	権 奈悟	電気通信大学
C S	S36CS15	小林はるみ	株式会社ドコモ C S
C S	S52CS53	吉村望	法政大学大学院

今年のキャリアデーは2024年5月18日に町田のサレジオキャンパスで開催、完全リアル対応で奥山新同窓会長は同日朝の集会で挨拶し、北原執行理事とともに4年生の一部の学科の集会に陪席した。

印象として、まだ実感のない学生もいるように見受けられたが、身近な先輩からのアドバイスは現実味があり、よい機会になっていると実感した（会長）

インターンシップで内定がとれるようになったので3,4年生にはさらなる就活への準備と積極的な参加を願う。同窓会としても協力をしていくつもりである（事務局）

第18回育英ファミリーの集い

恒例のさくらの会は、ようやく平常モードで3月23日（土）に旧育英高専敷地の右隣にある育英サイテック杉並で開催された。
事前申し込みは65名でしたが当日参加を含めて78名の出席に達しました。



次ページに続く



入口看板2010年から使用



桂嶋ファミリー会長（H16E）挨拶



福原高専事務局長・同窓会事務局長挨拶



高専1期電気工学科



会場全体像 国旗は東ティモール



元気な伏木先生（上）・ステイロル先生（下）



BLOG紹介 (2023/10) part1

報告 NHKロボコンの関東信越地区大会

報告 NHKロボコンの関東信越地区大会が開催(2023/10/15)

恒例の大会が開催されました。サレジオ高専の奮闘結果は入り次第ご報告します。
NHKリリースを転載します

https://www3.nhk.or.jp/Shutoken-news/20231015/1000098207.html?fbclid=IwAR07p6IYfN4Co6osoG9mH3JN7KBnitEIVk4_MkYFpzYgvHlwdilB9sSzI0

卒業生太田淳さんからの画像提供



報告 2023/9-11クラス会、同期会

題名 2023/9-11クラス会、同期会が続々開催

コロナが終息したことになったので、同窓会、クラス会、同期会が続々計画、開催されています。事務局に入ったところでは以下の通りです。

2023/9/30(終了) 育英高専12期電気工学科クラス会(幹事飯野→西山)

さる9/30ニューオータニ東京で表記学級のクラス会が開催されました。恩師の依田先生を含めて18名の出席で盛会のうちに終えられました。幹事代理の西山さんから以下の報告がありました。

コロナウイルスの影響で4年間も開催できなかったクラス会を久しぶりに行う事ができました。素晴らしい機会を得た事に感謝しております。コロナで行動制限された期間に、価値観も変わり、「健康、家族、友情の大切さ」を特に再確認したと思います。私たちは卒業して、45年経ち年金のもらえる年齢になりました。クラス会を再開して、多くの話をする事で、新たな友情を築き、とても新鮮な気持ちです。来年以降も、この素晴らしい瞬間を共有出来たら嬉しいです。また、皆さんとお会い出来る事を願っております。



2023/10/7(終了) 育英高専26期 電気工学科情報工学コースクラス有志の会(幹事齊藤)

さる10/7西池袋の「くいもの屋わん」で同学科S26ECのクラス有志の会が開催されました。恩師の小出先生のご出席もいただき大いに盛り上がったとのことでした。



同窓会BLOGは以下のURLでどうぞ

<https://ikueigakuin-dosokai.blogspot.com/>

情報提供は同窓会事務局まで

kido@salesio-sp.ac.jp

報告 高専プロコン全国大会(福井) 盛会で終わる

題名 高専プロコン全国大会(福井) 盛会のうちに終わる

高専プロコンの共催団体NAPLOCKの事務局長として福井に来ておりました。去る10/14-15の両日、福井県の鯖江市のサードーム福井で表題の大会が開かれました。3年間中止あるいはリモートでの開催、今回は4年ぶりにフル開催となりました。課題部門45校、自由部門52校、競技部門55校の延べ152校の参加で盛大に行われました。国際大会は同時開催でモンゴル、シンガポール、タイ、中国香港、ベトナムの各国から12チームが参加しました。協賛企業も9/14時点で56社に及び協賛額も目標に達しました。サレジオ高専は毎回参加している競技部門以外に自由部門に選出され、総勢15名に及び選手団を派遣しました。競技は1回戦は勝ち抜き、2回戦で敗者復活戦に廻り、そこで30校に及び戦いの中で10位の成績を収めました。上位2位までしか決勝戦に復帰できずここまでとなりました。自由部門も医療系のシステム提案で審査員の目にとまりましたが入賞には至りませんでした。(敢闘賞)。

しかし当職の見立てでは1年生も多く参加し来年度以降に大きな収穫があったと思います。また協賛企業のなかで本校の卒業生の姿もあり応援して頂きました。



自由部門チーム



急告 デザインセミナー佐藤敏明さん(S14D) 運営(2023/10/30)

題名 デザインセミナー(佐藤敏明さん[S14D_30]提供)

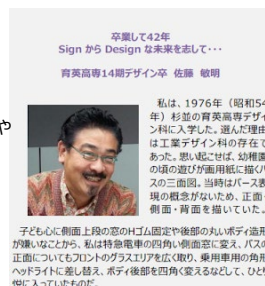
ご無沙汰しております。

私がプライベートで携わる公益社団法人日本工業デザイン協(JIDA)で企画した特別イベントをご案内申し上げます。企画関係者や大学生の出席も多く、学生さんと卒業生に拡散していただくと幸いです。

詳細情報は以下のリンクにてご覧いただけます：
<https://www.jida.or.jp/information/jida-design-crosstalk-2023designing-beyond-mobility>

当イベントでは、ダッソーシステムズのAnne Asensioさん、イタルデザインのJoaquin Garciaさん、山本卓身さんの自動車業界で著名なデザイナーが登場し、その後、JIDA理事長の太刀川栄輔さんがモデレーターを務め、3名のデザイナーとのディスカッションをリードいたします。デザイナーたちが集結し交流する素晴らしい機会となることでしょう。私は、企画進行係として会場におりますので、お会い出来ることを楽しみにしております。心よりお願い申し上げます。

■お申込みはこちら：<https://peatix.com/event/3728716/view>



緊急告知 5/11高専12期工業デザイン学科卒の佐々木真三さんイベント

リバーサイドのデザイン事務所

ハートデザイン研究所の佐々木です。

オリジナルブランドの『Design+Story』が次は、彩の国マルシェ イオンモール上尾にナチュラル・ウッド・ワークさんのブースにて展示販売されます。5月11日のみです。お近くの方はぜひお越しください。

オリジナルブランドの『Design+Story』ストーリーの生まれるものをテーマにともに時間を過ごせる相棒になる『もの作り』を進めます。Design+Storyが川口商工会議所の認定ブランド-monoに認定されました!! 今年、創るデザイナーとしてさらに磨きをかけてデザインと創作に邁進いたします。

川口商工会議所のYouTubeチャンネルにアップ公開されました。
<https://www.youtube.com/watch?v=3Xe38boSmxw>
ぜひ!ご覧ください。

※写真はFacebookからpickupさせて頂きました。



佐々木 真三

報告 育英祭で同窓会有志によるCaffe Timor開店

さる10月21日(土)、4年ぶりに育英祭が公開開催され、同窓会もホームカミング2023を同時開催いたしました。そのおりに同窓会副会長でもある鈴木(阿久津)ちひろさん、同期の川島幸子さん他の有志がCaffe Timorを開店し、天然由来の東チモールコーヒーの試飲、ドリップや粉、豆の販売を行い好評を得ました。あらたなメンバー(同窓生やその友人、家族)を加えてチームカフェを結成、今後オファーを頂ければいろいろなイベントに出張販売したいと意気込んでおります。是非興味のある方は同窓会事務局にお問い合わせください。



報告 育英(現サレジオ) 高専一期電気工学科同期会(祝喜寿)開催(2024/5/18)

育英高専一期電気工学科同期会(祝喜寿)報告

2024.5.18(土)杉並サイテックにて、高専一期電気(電力・電子)94名卒業のうちの恩師(松岡・依田・木戸各先生)を含む22名が参加し、卒業56年 喜寿を迎える年に第7回同期会が開催されました。松岡先生の挨拶、依田先生の乾杯の後、参加者全員の近況や展望で楽しいひと時を過ごし、伏木先生のピアノ伴奏にて校歌斉唱し、次回80歳での元気な体での再会を近い開会いたしました。その後有志10名弱が井荻の屋台すしで2次会を催しさらに盛り上がりしました。以上報告いたします。幹事 河村英和

ピアノ伴奏して頂いた伏木先生が「これが一期生なのね」と感心していました(事務局)



報告 高専7期グラフィック工学科A組の古希の会

去る2024年4月3日、吉祥寺の「聘珍樓」で育英高専7期グラフィック工学科A組の有志仲間が参集し、恩師の三浦克徳先生(2~5年担任、英語科)と関先生(1年担任、グラフィック工学科)をお迎えした。お二人は80歳で傘寿(86歳では傘寿になりません、お詫びして訂正いたします。)を超え、私たちは卒業50年古希ということで併せて祝うことといたしました。7期卒では杉本文司先生も同期卒業生として参加しております。女性は、当時は女子学生はおりませんでしたので、卒業の奥様方ということになります。

第7期グラフィック工学科A組

幹事 林利法

朱筆部分は訂正のご指摘を頂きましたが修正が遅くなりました。お詫びします(事務局)



報告 奥山同窓会長、卒業式・謝恩会に出席

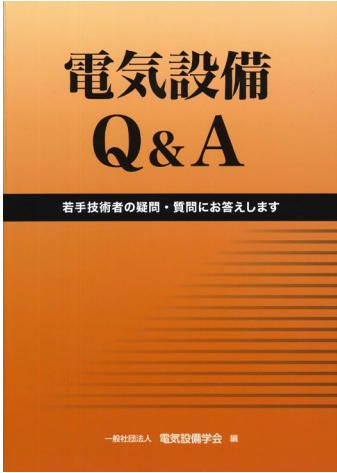
去る2024/3/14ようやくコロナ以降の平常のスタイルに戻った卒業式・謝恩会に奥山新会長が出席した。橋本駅北口Meweの7F、「杜のホール」で13:00から開式、北川チャレン、小島校長の司式による「ことばの祭儀」に続いて高専専攻科22期の修了式、本科57期の卒業式が保護者の参加を交えて開催された。その後夕刻から会場を八王子日本閣に移動して父母会主催による謝恩会が開催された。特に卒業生企画の卒業へのコメントが画像や実演で行われたが彼らの主要なコメントは卒業できた喜びは当然のこと、それが先生の「親切」な指導の結果によるものという言葉が多かった。

当日の謝恩会はアルコールなし、ウーロン茶で昔見られた喫煙する学生もまったく見られなかった。最新のコンプラ厳守の傾向が現れていた。わずか10年位で大きく様変わりした。



発刊 機械電子工学科米盛弘信准教授(S36EC) 電気設備学会の発刊氏に掲載

本校機械電子工学科の米盛准教授がかねてから尽力されている学会から刊行される「電気設備Q&A」という冊子に寄稿されています。これは実務書ですので一般書店では入手できず同学会HPから直接お申し込みください。



編集機関	
「電気設備 Q&A」編集委員会	
委員長	小林 幹 工学院大学名誉教授
幹事委員 (50名順)	岡田 猛 彦 興田技術士事務所 引 嶋 順 朝日本設計 森 田 徹 (一社)電気設備学会
委員 (50名順)	秋 池 晃 朝陽電工 岡 田 悠 介 朝日建設 穴 戸 英 明 朝陽電工 中 野 雄 也 朝三愛地所設計 堀 井 幸 博 (一社)北陸産業活性化センター 森 下 明 憲 朝九電工 八 木 康 新 朝竹中工務店 山 口 亮 大成建設 米 盛 弘 信 サレジオ工業高等専門学校
編集協力者	藤 田 智 也 三菱電機 神 林 貞 幸 日本大学生産工学部非常勤講師 下 川 英 男 (一社)電気設備学会
事務局	鈴木 義 夫 (一社)電気設備学会 相 良 ふみ子 (一社)電気設備学会 小 川 聖 子 (一社)電気設備学会

急告 野島伸二師七月善竹狂言会出演(2024/7/14)

来る2024年7月14日(日)午後二時から国立能楽堂(千駄ヶ谷駅下車)において大蔵流善竹家一門による善竹狂言会の公演が行われます。先生も演目「千鳥」の主人公役で登場されます。ご関心のある方はじめ関わりのおった皆様の来堂をお待ちします。教科書にも登場する太郎冠者の演目です。

お問い合わせはイトーノヒサOFFICEまでどうぞ。予約は下記のフリーダイヤルをお使いください。



最後のお便りより

育英学院同窓会創立の頃
空閑 晋
(育英工高6期印刷科)

かねてから同窓会活動をご支援、ご協力を頂いていた育英工高印刷科を昭和30（1955）年に卒業された空閑晋さんからお便りを頂きました。戦後昭和24年に学制改革があり、それまで旧制工業学校であった育英も新制の高校として再発足して数年の頃のことです…。

お便りから（抜粋）

私たちは昭和24（1949年）4月育英中学（当時は帝都育英学院中学校）に入学、中学を経て昭和30（1955年）3月育英工高（当時帝都育英学院工業高等学校）を卒業して早69年、クラス会の顔ぶれも一人二人と鬼籍に入る級友もいて寂しくなってきました。先の育英同窓会報（高専ニュース内）で小熊坂満邦氏の記事を目にしてそれは懐かしくうれしいものでした。

記事中にあった広田昌義氏（京大教授）、支倉崇晴氏（東大教授）のお二人は恩師である故平山吉晴先生の自慢の生徒であり、私にとっては寄宿舎でともに過ごしたことがある方々、校庭の隅にあったブタやニワトリの飼育の世話も得がたい寮生活の経験でした。

さらに二度に渡って火災に遭遇したこと、特に二度目の火災は卒業を控えた2月、本館、寄宿舎、教会堂は全焼、亡くなった先生（神父・修道士）もお二人、幸か不幸かすでにあった講堂は残ったので卒業式は行われました。卒業証書は後日授与され、同窓の仲間は皆、進学、就職もでき、私も一旦就職しましたが、平山先生のお誘いで後に学校へ戻り、教師ではなく当時校内にあった印刷会社（ドン・ボスコ社）に勤め、その傍ら卒業生の名簿づくりの手伝いをしました。

その頃はまだ「同窓会」なるものは存在しなくてもしかも本館にあった卒業台帳も消失してしまいましたが、私がかんりの名簿を持っていて、しかも火事の前に退寮していたので無事でした。そして旧制時代の先輩、運動部の関係者などつてを辿って同窓会の基礎づくりができました。育英に在籍していた先輩を会長にお願いしたのですが、校舎が再建され落ち着いてくると同窓活動の動きが鈍くなりました。

私自身は育英の会社から外に出て会社勤めを40数年、退職して25年もたってしまいました。当初の同窓会は十分な活動もできませんでしたが、当時寮生活をともにした工高10期の但馬剛氏とその仲間たちが昭和60（1985）年に同窓会再興を図り、当時の練馬文化センターで数百人の同窓生を集め、彼の育英中学での同窓だった風間君（俳優の高橋元太郎）と水戸黄門の俳優陣を招いて一大イベントを開催、現在の同窓会の礎を築いてくれました。高専になってからもそれは継承されて今日に至っています。

仕事柄印刷の業界で働くことで、工高、高専の後輩と接する機会もあり、各方面で大きな活躍をしている卒業生を見ることができています。

左下の続き

しかしながら年を経るのは止めようもなく、杉並には当時の校庭、校舎はなく大規模なマンション群、しかし隣の修道院の敷地内に当時の校門の鉄扉、ドミニコ・サビオ（ドン・ボスコの最初の生徒で後にカトリックの聖人になった）の像、同窓会で植えた桜など懐かしいものが今でも残っています。私たちの恩師であった平山先生（中学担任）、中村皓一先生（工高担任）、アルビノ先生（教務主任）は皆故人となりました。最近ではスミス先生、ゴリス先生も帰天されました。印刷技術を教えて頂いた榎本隆司先生も静岡の介護施設におられると聞いております。

来年は育英開校90周年の年と聞いております。私の年と同年代…以前のように町田の学校を訪れるのは難しい今日この頃ですが時代や場所が変わってもその建学の精神を受け継ぐ学校が今でも町田の小山ヶ丘にあるのは心強い限りです。

私はいつでも、ことあるごとに「育英の卒業生」と胸を張って声をあげるつもりです。たとえそれが「サレジオ高専」と変わっても精神は受け継がれているはずで。

以下の集合写真は10年ほど前、傘寿を迎えたとき下井草駅近くの「淡菜房」で印刷科6期の仲間と亡くなった級友の奥様とともに撮ったものです。私は左から3番目です。



Loving Kindness Human Technology Living Truth



高専News編集部では
皆様からの情報やご要望をお待ちしております。

ご自身の近況・ご学友の近況などの情報のご提供や、より詳しく知りたい本校の活動内容などがございましたら
お気軽に下記担当者までお問い合わせください。

企画 広報 課
星野 正登

【 hoshino@salesio-sp.ac.jp 】 or 【 070 - 2196 - 5135 】

なお、本校に来校をご予定の方は、公共交通機関をご利用の上、
お気をつけてお越しください。

